

まちのうごき		
面積	7.67km <sup>2</sup>	
(2月1日現在)	(1月中)	
世帯数 18,244世帯	生まれた人	44人
人口 53,371人	亡くなった人	26人
男 26,214人	転入した人	143人
女 27,157人	転出した人	207人

# 広報 向日市

No.569  
平成6年(1994年)3月1日  
◎発行 向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20)  
◎編集 秘書広報課 ◎電話 075(931)1111



## ごみの減量化は あなたから



**新谷志津子さん**  
緑豊かな向日市をいつまでも残してほしい。環境美化に役立つことがなによりうれしい。



**山口 知子さん**  
ごみ収集車のイメージを変えてみたかった。仕上がりに、期待以上のものです。

ごみの減量化に取り組んでいる市では、このほど、新しいごみ収集車「じんかい君」を登場させました。じんかい君は、市民から応募があった塗装デザイン24点のなかから選んだ2点を車体に描いています。

ごみ収集車のイメージアップを図り、ごみ問題への関心を高め、ごみの減量化、リサイクル、環境美化などを推進して、住みよいまちづくりにつなげていくものです。

ごみの問題は、私たち1人ひとりの問題です。ものを大切に、繰り返し使用することから始めましょう。

じんかい君が、ごみの減量化と環境美化をPRします。

夢を描いた新谷さん、山口さんの2作品

## 「じんかい君」が環境美化をPR

新しいイメージに生まれかわるごみ収集車

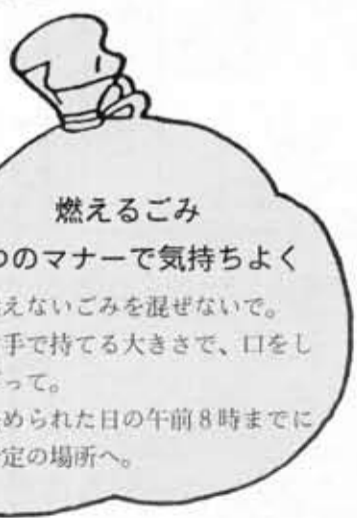


新聞で紹介された「じんかい君」は、早くもまちの話題となりました。「なかなかいいじゃないの」と評判も上々。

新しいごみ収集車「じんかい君」の塗装デザインに選ばれた2人の作品は、新谷志津子さん(33歳)の主婦、寺戸町が、山間を流れる小川のそばで子どもたちが遊んでいる情景を描いたもの、山口知子さん(15歳)の西の岡中3年、

ふるさとの情景(新谷さん)

花の妖(よう)精(山口さん)



燃えるごみ

3つのマナーで気持ちよく

- ① 燃えないごみを混ぜないで。
- ② 片手で持てる大きさを、口をしぼって。
- ③ 決められた日の午前8時まで指定の場所へ。



物集女町が、花の妖(よう)精を淡い色彩で表現したもので、じんかい君の車体の両側に、それぞれ片面ずつ縦1メートル、横3メートルの大きさに描かれています。市から感謝状と記念品を贈られた新谷さんと山口さんは「ごみの減量化に役立てば幸いです」とじんかい君の活躍に期待をふくらませています。市には、現在、6台のごみ収集車があり、日常のごみ収集業務にあたりています。来年度以降についても、更新に合わせて、一台ずつ、市民から塗装デザインを募集していく予定です。お問い合わせは、市民部衛生課(内線227)へ。